

これまでのあらすじ

(仮)浜益web情報館「浜益宝箱」事業

課題

- ・文化を伝承する映像の保存
- ・地元の文化・芸術
※荘内藩陣屋研究会の方々・人形作家の方・沖揚げ音頭・奴・川下八幡神楽・浜益音頭保存会・浜益豊漁太鼓・浜益小劇場
- ・地元の歴史(古老から歴史を学ぶ・浜益昔ばなしの更新)
※高齢者から昔の話、こぼれ話、よもやま話。戦争やニシン場、学校の話など
- ・たくさんの自然
- ・地域に開かれた学校 → 授業参観日、転じて「授業参加日」
※様々な職種、年齢層の方々に学校へ関わってもらう。地元愛、自分の家族の成り立ち等、様々な学びへ。

具体的な手法(事務局提案)

令和4年度

- ・浜益の歴史文化的な資料や素材、今の浜益の記録を「浜益の宝」として後世に残す取り組み
- ・ITやデジタルを活用し、歴史文化の継承や今の浜益の記録保存をDX
- ・素材集めや情報収集、精査は地域協議会が実施
- ・「肖像権ガイドライン(デジタルアーカイブ学会)」に基づく自主ガイドラインの策定

課題解決のために必要なこと(要素)

- ・区民カレンダーに掲載された古い写真のデジタル化
- ・古き良き浜益の写真、8mmフィルム等の映像収集
- ・NPO法人ezorockによる集落の教科書
- ・移住、定住を考える方々に浜益の基礎知識を浜益に来るボランティアの方々へのPR
- ・子どもたちのデジタル教育の発展
- ・廃村危機にある集落の今を残す
- ・情報を発信すること、「事柄」だけでなく「人」も
- ・区民カレンダー写真の利用方法検討
- ・昔の沖上げ音頭(太鼓付き。)を今の子どもたちに見せたい
- ・公開に当たっての肖像権の確認
- ・写真よりも動画が良い。youtubeの活用

令和5年度以降

- ・浜益区コミュニティ普及推進事業実行委員会がプロポーザル(企画提案方式)で委託業務を発注
- ・手始めに、区民カレンダーのバックナンバーや古い写真のアーカイブデータ、浜益村時代の広報はまますの公開から始める
- ・並行して、集落の教科書、消滅危機にある集落の現在を語る動画、観光素材、各方面で浜益をPRしているFaceBook等へのリンクの一元化
- ・浜益の教育環境の変遷も資料として公開
- ・(仮称)浜益学園や旧適沢コミセンなどの展示コンテンツとして活用
- ・事業化にあたり、サイトのアウトライン、デザインの設計と共に、素材の公開に至るまでの操作の簡略化、マニュアル整備を求める
- ・事業予算上限300万円程度を見込む

「高齢者に優しいまちづくり」 浜益web情報館「浜益宝箱」事業を行う目的は？

目的

- ・浜益の文化・芸術、伝統を伝える映像の保存・公開
※ 荘内藩陣屋研究会の方々・人形作家の方・沖揚げ音頭・奴・川下八幡神楽・浜益音頭保存会・浜益豊漁太鼓・浜益小劇場
- ・浜益の歴史(古老から歴史を学ぶ・浜益昔ばなしの更新等)を伝える
※ 高齢者から昔の話、こぼれ話、よもやま話。戦争やニシン場、学校の話など
- ・たくさんの自然を魅せる
- ・様々な職種、年齢層の方々に学校へ関わってもらう。地元愛、自分の家族の成り立ち等、様々な学びへ。
- ・浜益に関心を持った方への予備知識、知恵袋として活用したい。



第1目標

浜益の高齢者が

- ・守ってきた歴史・文化・自然を伝承する材料
- ・活躍していた頃の苦労話やおもしろ話
- ・頭の中に持っている知恵や何気ない技術
- ・浜益で楽しく過ごしている姿
- ・脈々とつなぐ故郷、母校への愛
- ・見聞きして捉えている現在

→ 高齢者の活躍で素材が集まる！

発展！



第2目標

- ・子どもたちの学習材料になる
- ・関係人口層が浜益に興味を持つきっかけになる
- ・現役世代に役立つ知恵や技がある
- ・浜益を離れた家族、親戚と繋がるきっかけになる
- ・世代関係なく共感できることがある
- ・浜益の現在を発信し、浜益に来る方への予備知識提供
- ・浜益に足りない物、コトを見つけてくれる人の広がり

→ 過去だけではなく常に現在を発信

財宝とはどんなもの！？

現在の財宝

- ・「浜益村」の頃の広報誌
- ・「区民カレンダー」のバックナンバー
- ・「集落の教科書」(ezorock製作)
- ・沖揚げ音頭の映像
- ・わかもん会の取り組み
(浜ザースカイ・吉弘文人探検隊等)
- ・集落支援員コンテンツ(空き家情報、古老の記録動画等)
- ・地域おこし協力隊コンテンツ(活動報告等)

仕入れたい財宝

- ・荘内藩ハママシケ陣屋跡、郷土資料館のガイド映像
- ・祭り関係(奴道中、八幡神楽、浜益音頭など)
- ・浜益豊漁太鼓
- ・浜益小劇場
- ・浜益の自然(千本ナラ、イチイ、黄金山、馬雪等)
- ・浜益だからできる学校の活動
- ・普段は見られない景色(登山動画、漁師目線の動画等)
- ・古い写真や8mm映像
- ・はまます昔ばなしを増やしていこう
- ・浜益の知りたいことがここで全部つながるように！
(各団体サイトのリンクを一元化)

作りたい財宝

- ・朝市やみなと祭りのCMやリポート動画
- ・浜益では珍しくない鹿の群れ特集
(鹿皮活用の取り組みもクローズアップ)
- ・浜益グルメのリポート
(ジンギスカン、ルッツ、浜益の飲食店の名物メニューの食リポ等)
- ・海水浴場やキャンプ場の様子(金曜収録)
- ・生きがいづくり学園やカフェクローバーの様子
- ・高齢者が語る浜益弁講座
- ・カメムシの対処法
- ・昔の写真の場所はどーこだ！ 見つけ隊！
- ・カラオケ愛好会の慰問用ライブ映像
(新型コロナウイルス感染症蔓延で生ライブ不可の状況になった)
- ・How to いきいき体操&びん踊り
(高齢者が自宅でできる体操等の紹介)

企画の持ち込み、素材の持ち込み
大 歓 迎！
やってみたいを、やってみよう。
そして、繋がっていこう！



実現するために考えておくこと

「だれ」が「どのように」行うか

- ・事業実施主体をどこにするか。
- ・素材はどのような形で集めるか。
- ・集めた素材を調理して効率よく提供できるカタチとは。
(運営委託をするならどこにするかも重要)

「どこ」で使うか

- ・カフェクローバーや温泉 (区民憩いの場で話のタネに)
- ・浜ワークや浜益ベース
(短期滞在や移住の方への浜益紹介)
- ・学校 (見て知るだけでなく、発信したいことの実現)
- ・図書館 (本だけでは得られない情報ツール)
- ・カフェスト、ワーケーションスペース
(自由な時間に覗き見する浜益の姿)

これから協議していく内容

- ・どんな形で公開してくか。
(webサイト(ホームページ)であればテーマ、コンセプト、デザイン、見せ方が需要)
- ・ランニングコストの確保の仕方。
(サーバーやドメイン使用料、動画や画像の編集委託、サイト運営の委託等)
- ・サイトを閲覧させるきっかけづくり
(検索キーワード設定やQRコードの配布による周知等)
- ・事業を自走化させる方法の検討
(何かで稼いで運営やCM受注等)
- ・双方向での活用の検討
(発展形として、閲覧側が欲しい情報を要求する等)